

政策評価書(要旨) (事後の事業評価)

事業名	新架橋	担当部局	経理装備局艦船武器課
政策体系	I-4-(2)-② 研究(開発)	実施時期	平成18年10月～19年3月

<b>事業の内容</b> 81式自走架柱橋の後継として、高強度、大スパン単径間橋(中途に橋脚を持たない架橋)で、自動化により少ない作業で迅速に架設できる新架橋を開発する。	<b>事前評価時(概算要求時)</b> <table border="1"> <tr> <td>15</td> <td>16</td> <td>17</td> <td>18</td> <td>終了年度</td> </tr> <tr> <td colspan="2">← 試作 →</td> <td colspan="2">← 試験 →</td> <td>18年度</td> </tr> <tr> <td colspan="4"></td> <td>経費総額 約32億円</td> </tr> </table>	15	16	17	18	終了年度	← 試作 →		← 試験 →		18年度					経費総額 約32億円
	15	16	17	18	終了年度											
← 試作 →		← 試験 →		18年度												
				経費総額 約32億円												
	<b>実施結果</b> <table border="1"> <tr> <td>15</td> <td>16</td> <td>17</td> <td>18</td> <td>終了年度</td> </tr> <tr> <td colspan="2">← 試作 →</td> <td colspan="2">← 試験 →</td> <td>18年度</td> </tr> <tr> <td colspan="4"></td> <td>経費総額 約32億円</td> </tr> </table>	15	16	17	18	終了年度	← 試作 →		← 試験 →		18年度					経費総額 約32億円
15	16	17	18	終了年度												
← 試作 →		← 試験 →		18年度												
				経費総額 約32億円												

評価の内容

<b>事業の目的</b> 現有の81式自走架柱橋は、陸上自衛隊の施設科部隊が作戦地域の河川、地隙等に架設して、第一戦部隊の機動を容易にするための装備であるが、74式戦車の通過を対象とし、90式戦車や99式自走155mmりゅう弾砲などの通過に対応できない。また、架柱を使用するため、架設を行う河川の流速等の影響を受け、洪水時に架設できないこと及び架柱設置工事に長時間と多くの作業を必要とするなどの問題点を有しており、有事及び災害時に迅速かつ実効性のある対応が困難である。 このため、師団の全車両に対応し、流速等の制限を受けず、少ない作業で迅速に架設できる、高強度・大スパン単径間橋で、架設のための自動化技術を取り入れた新架橋を開発する。
---

<b>達成状況</b> ①達成効果 以下の技術項目の達成により、従来の81式自走架柱橋に比べて、架設する河川の状況に左右されずに架設が行えるようになるほか、より少ない準備で架橋の架設が開始出来る新架橋を開発した。 ア 架設のための自動化技術 (ア) 架設車の前アウトリガ・支持装置の上・下方向における連動制御 (イ) 供給装置の軌跡制御 (ウ) 供給装置の旋回速度制御 イ 架設機構の高強度・小型軽量化技術
--

②達成時期 当初の計画どおり、平成18年度に終了した。
--------------------------------

③教訓等事項 民生品の活用、部品の共通化等により、橋梁能力の向上にも関わらず、今後の計画的な配備を可能とする価格に抑えることが出来た。
--

<b>今後の対応</b> 今後、施設科部隊への整備を進める予定である。
--

<b>その他参考情報</b> 平成14年度 事前評価「新架橋」
------------------------------------